

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)総合学習推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	03	総合学習推進事業
担当課・係等				
学校教育課・学務係				

実施計画整理番号	
102010102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	生徒個々を生かす教育を推進し、確かな学力を育成する。	体験学習を中心に多様な学習形態の工夫により、興味・関心を生かした教育を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	興味・関心を生かした教育を推進することで、生徒の思考力・判断力・表現力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	1,161	1,161	1,060	1,200	1,156	978			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	1,161	1,161	1,060	1,200	1,156	978		
	人工数	人	—			—					
	人件費	千円	—			—					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行えるよう支援する	学校への支援	目標値				
		実績値				
		目標値				
		実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
すべての生徒の「社会で生きる力の育成」が図られる。	実施学校数	目標値	100	100	100	100
		実績値	100	100	100	

活動指標の動向	成果指標の動向																		
	実施学校数 <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>R1</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R2</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R3</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R4</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R5</td><td>0</td><td>100</td></tr></table>	年度	実績値	目標値	R1	100	100	R2	100	100	R3	100	100	R4	100	100	R5	0	100
年度	実績値	目標値																	
R1	100	100																	
R2	100	100																	
R3	100	100																	
R4	100	100																	
R5	0	100																	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	1	1	(中)総合学習推進事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	03	総合学習推進事業

整理番号
102010102

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

- ・より効率的に学習成果があげられるよう、各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行った。
- ・全中学校で実施できた。

必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

いずれの取り組みも、生徒の「社会で生きる力」を育む教育の推進という目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、創意工夫を生かした教育活動を実施する必要がある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性	改善・改革の手法
A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

引き続き、「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるよう、継続して予算支援を行う。

企画政策課の評価	評価理由
A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当 全中学校で実施することで、すべての生徒の「社会で生きる力の育成」に寄与していると認められる。引き続き、確かな学力の育成に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
子どもの読書活動推進事業					

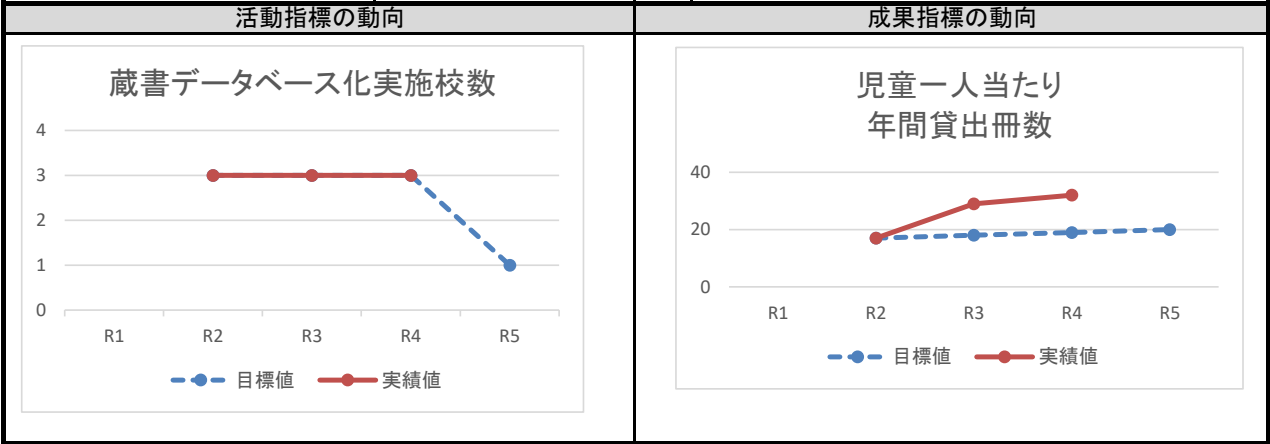
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	02	02	7	子どもの読書活動推進事業	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102010103	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校図書館の整備・充実を図り、児童・生徒の読書活動や学習活動を充実させる。	・専任の学校司書を配置する。 ・学校図書館の蔵書のデータベース化を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の充実を図ることで、本に親しむ意欲と態度の育成につなげ、ひいては、施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	13,861	13,861	9,297	11,742	11,619	10,942			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	13,861	13,861	9,297	11,742	11,619	10,942		
	人工数	人	7			5					
	人件費	千円	6,550			7,273					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学校図書館整備の中心となる蔵書データベース化実施校の拡充に努める。	蔵書データベース化実施校数	校	目標値 3	3	3	1
			実績値 3	3	3	
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学校図書館の整備及び読書活動や学習活動の推進により本に親しむ意欲と態度の育成ひいては社会で生きる力の育成につなげる。	児童一人当たり年間貸出冊数	冊	目標値 17	18	19	20
			実績値 17	29	32	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名		款	項	目	事	事業名	102010103
1	2	1	1	子どもの読書活動推進事業	9	02	02	7	子どもの読書活動推進事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・昨年度までに蔵書データベース化が完了した小学校9校に加えて、本年度、小学校3校の蔵書データベース化を完了し、全小学校13校中12校となった(未実施の1校は、本年度末に統合)。 ・蔵書データベース化により、必要な本が整理されて貸出業務が迅速になるとともに、児童の読書傾向を正確に把握できたため、選書の有効な手立てとなった。 ・児童の委員会活動が活発化し、読書活動を推進することができた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・蔵書がデータ管理されたことで、蔵書の偏りや複本が判明した。より効果的な選書をしていく必要がある。 ・データベース化作業の準備段階として、除籍を計画的に進めていく必要がある。 ※除籍…図書館等において図書原簿から図書館資料を除去すること。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・学習や教科等で学校図書館を効果的に活用するため、整備された蔵書データベース化を、継続して有効活用していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検討が必要 D:事業終了が適当	学校図書館の環境整備を推進することにより、児童の読書活動や学習活動の充実に寄与していると認められる。引き続き、より効果的に学校図書館が活用できるよう事業の推進に努めていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	2	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)国際教育推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	5	国際教育推進事業
担当課・係等				
学校教育課・指導係				

実施計画整理番号	
102010201	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地、基礎となる資質・能力を身に付けられるようにする。	ALTを全小学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 ※ALT・・・Assistant Language Teacherの略、外国語を母国語とする外国語指導助手のこと
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	児童がALTと触れ合うことにより、異なる文化を学び、理解することで、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト (DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	20,328	15,620	15,620	20,328	20,328	15,620			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	20,328	15,620	15,620	20,328	20,328	15,620		
	人工数	人									
	人件費	千円									

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
ALTを全小学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。	派遣学校数	校	目標値	14	13	13	12
			実績値	14	13	13	
			目標値				
			実績値				
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度	
児童が外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、コミュニケーションを図る素地、基礎となる資質・能力を身に付けられるようにする。			目標値				
			実績値				

活動指標の動向	成果指標の動向
派遣学校数 —●— 目標値 —●— 実績値	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名		款	項	目	事	事業名	102010201
1	2	1	2	(小)国際教育推進事業	9	02	02	5	国際教育推進事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・小学校3,4年生の外国語活動の授業に週1回、小学校5,6年生の外国語科の授業に週2回、ALTを配置した。 ・すべての小学校に派遣できた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	すべての小学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地・基礎となる資質・能力を養うことができた。また、言語・文化等の違いを越えて関係を構築する能力を養うことができた。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	引き続き、ALTを全小学校に派遣することで、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けることができると考える。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、グローバル化に対応したコミュニケーションの育成を図ることで、「社会で生きる力の育成」に寄与していると認められる。引き続き、全小学校での実施を継続できるよう努めていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	2	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(中)国際教育推進事業					

予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	03	02	5	国際教育推進事業	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102010202	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	生徒が情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けられるようにする。	ALTを全中学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 中学生を海外に派遣し、ホームステイによる異文化交流を図る。 ※ALT・・・Assistant Language Teacherの略、外国語を母国語とする外国語指導助手のこと
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	生徒がALTと触れ合うことにより、異なる文化を学び、理解を深めることで、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	34,192	27,130	23,430	34,192	34,207	24,355			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	34,192	27,130	23,430	34,192	34,207	24,355		
	人工数	人									
	人件費	千円									

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
・ALTを全中学校へ派遣し、ALTと触れ合う機会を多く提供する。 ・中学生の海外派遣	派遣学校数	校	目標値 6	6	6	6
			実績値 6	6	6	
	海外派遣人数	人	目標値 31	31	31	31
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
生徒が情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付けられるようにする。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向
派遣学校数 7 6 5 4 3 2 1 0 R1 R2 R3 R4 R5 —●— 目標値 —●— 実績値	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名		款	項	目	事	事業名	102010202
1	2	1	2	(中)国際教育推進事業	9	03	02	5	国際教育推進事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・すべての中学校にALTを派遣した。 ・中学生の海外派遣事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により国内研修を計画したが、新型コロナウイルス感染症の拡大により中止となった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・すべての中学校にALTを派遣したことにより、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を養うことができた。また、広い視野に立ち、言語・文化等の違いを越えて関係を構築する能力を養うことができた。 ・新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえ、今後の海外派遣について検討する必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	引き続き、ALTを全中学校に派遣することで、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができると考える。	
	企画政策課の評価	評価理由
	B A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、グローバル化に対応したコミュニケーションの育成を図ること で、「社会で生きる力の育成」に寄与していると認められる。引き続き、 全中学校での実施を継続できるよう努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	1	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(小)学校教育支援事業					

予算科目					
款項目事				事業名	
9	02	02	04	学校教育支援事業	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校の教育環境について、ソフト面において支援を行い、児童の豊かな人間関係作りに必要な基本的な力を育むとともに、円滑な学校教育を推進する。	学校支援ボランティアや心の教室相談員等を配置、斡旋する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校支援ボランティアや心の教室相談員が、学校における教育活動の中で必要な活動や支援を行い、ソフト面からの支援を行うことで、豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を育み、ひいては施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	4,619	4,619	3,987	3,990	3,743	3,491			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	4,619	4,619	3,987	3,990	3,743	3,491		
	人工数	人		1		1					
	人件費	千円		2,556		3019					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学校支援ボランティアの登録や心の教室相談員を配置する。	学校支援ボランティアの登録者	人	目標値 360	330	330	330
			実績値 336	330	275	
	心の教室相談員配置校	校	目標値 4	4	4	4
			実績値 4	4	4	
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
児童が豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を身に付ける。		%	目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向															
学校支援ボランティアの登録者 <table><caption>学校支援ボランティアの登録者動向</caption><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R2</td><td>360</td><td>336</td></tr><tr><td>R3</td><td>330</td><td>330</td></tr><tr><td>R4</td><td>330</td><td>275</td></tr><tr><td>R5</td><td>330</td><td></td></tr></table>	年度	目標値	実績値	R2	360	336	R3	330	330	R4	330	275	R5	330		
年度	目標値	実績値														
R2	360	336														
R3	330	330														
R4	330	275														
R5	330															

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	1	(小)学校教育支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	04	学校教育支援事業

整理番号
102020101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・各小学校に登録した学校支援ボランティアが、学校の環境整備、教育活動、安全対策等を支援した。 ・心の教室相談員に代わり、全小学校にスクールカウンセラー(県費)が配置され、児童の悩み相談等に 応じた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の教育活動の支援が思うようにできない部分もあった が、交通安全見守りボランティアは十分に支援を果たした。		

今後の 方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑥その他
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に注視しつつ、学校の教育環境の整備や、教育活動 等の支援をしていくことで、円滑な学校教育を支援していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
	A	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検 討が必要 D: 事業終了が適当 本事業は、児童の豊かな人間関係づくりに必要な力の育成に資する事 業と認められる。引き続き、学校の教育環境の整備や教育活動等の支 援に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	1	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(中)学校教育支援事業					

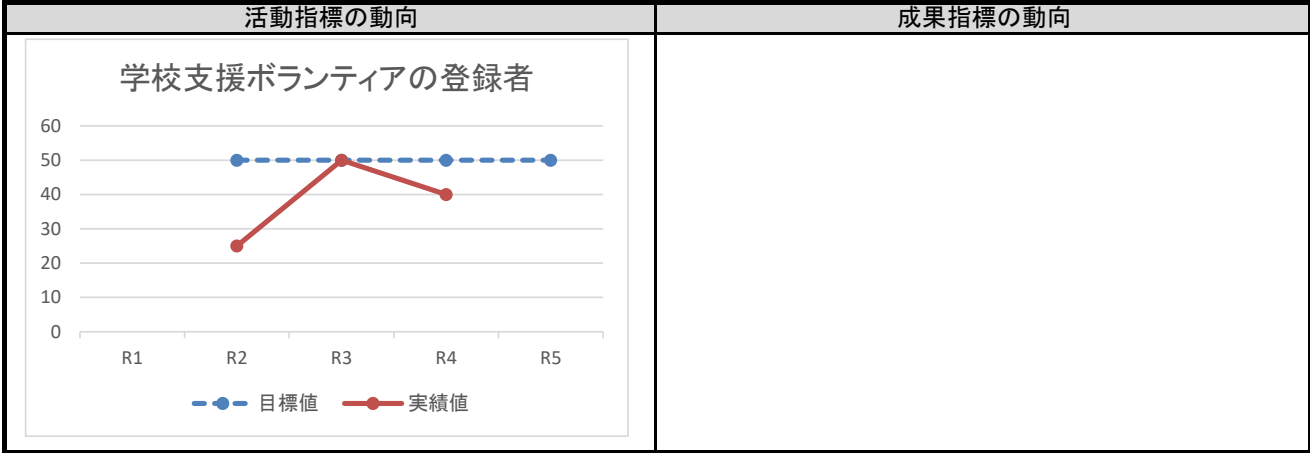
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	03	02	04	学校教育支援事業	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102020102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学校の教育環境について、ソフト面において支援を行い、生徒の豊かな人間関係作りに必要な基本的な力を育むとともに、円滑な学校教育を推進する。	学校支援ボランティアや心の教室相談員等を配置、斡旋する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学校支援ボランティアが、学校における教育活動の中で必要な活動や支援を行い、ソフト面からの支援を行うことで、豊かな人間関係づくりや社会性を育成し、ひいては施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	4,972	4,972	2,377	4,674	3,280	2,534			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	132	132	744		132	468		
		一般財源	千円	4,840	4,840	1,633	4,674	3,148	2,066		
	人工数	人	2			2					
	人件費	千円	1,822			1874					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
学校支援ボランティアの登録や適応指導教室の設置	学校支援ボランティアの登録者	人	目標値 50	50	50	50
			実績値 25	50	40	
	適応指導教室の設置	箇所	目標値 2	2	2	2
			実績値 2	2	2	
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
生徒が豊かな人間関係づくりに必要な基本的な力を身に付ける。			目標値			
			実績値			



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	1	(中)学校教育支援事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	02	04	学校教育支援事業

整理番号
102020102

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・各中学校に登録した学校支援ボランティアが、学校の環境整備、教育活動等を支援した。 ・適応指導教室を2箇所設置し、不登校児童・生徒を対象に、自立心や社会性の育成、社会的自立を目指しての支援を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・新型コロナウイルス感染症の影響により、学校の教育活動の支援が思うようにできない部分があった。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に注視しつつ、学校の教育環境の整備や、教育活動等の支援をしていくことで、円滑な学校教育を推進していく。 ・引き続き、不登校児童生徒の対応を、学校と連携を密にしながら対応していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、児童の豊かな人間関係づくりに必要な力の育成に資する事業と認められる。引き続き、学校の教育環境の整備や教育活動等の支援に努めていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画						予算科目						実施計画整理番号			
節	テーマ	施策	展開	テーマ名		施策名		款	項	目	事	事業名		102020401	
1	2	2	4	学校教育		豊かな人間性の育成		9	02	01	01	一般職人件費		総合戦略 整理番号	
実施計画事業名						担当課・係等									
(小)特別支援教育支援員活用事業						学校教育課・指導係									

事務 事業 の 概 要 （ P L A N ）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）		主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）	
	障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。		特別支援教育支援員を配置する。	
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）			
	障害があり、集団の中で学習やソーシャルスキルに課題がある児童に対し、安心して学校生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。			

投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	35,361	33,568	28,863	31,626	34,595	29,689			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	35,361	33,568	28,863	31,626	34,595	29,689		
	人工数	人	—			—					
	人件費	千円	—			—					

手 段(DO)		活動指標		単位	2年度	3年度	4年度	5年度
特別支援教育支援員を配置する。	配置人数	人	目標値	18	18	18	18	
			実績値	18	18	18		
	配置校数	校	目標値	13	12	12	12	
			実績値	13	12	12		
成 果		成果指標		単位	2年度	3年度	4年度	5年度
障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値					
			実績値					

活動指標の動向		成果指標の動向																			
配置人数 <table><tr><th>期間</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>R1</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>R2</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>R3</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>R4</td><td>18</td><td>18</td></tr><tr><td>R5</td><td>12</td><td>18</td></tr></table>		期間	実績値	目標値	R1	18	18	R2	18	18	R3	18	18	R4	18	18	R5	12	18		
期間	実績値	目標値																			
R1	18	18																			
R2	18	18																			
R3	18	18																			
R4	18	18																			
R5	12	18																			

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	4	(小)特別支援教育支援員活用事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	01	01	一般職人件費

整理番号
102020401

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・特別に支援を要する児童に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・近年、支援を要する児童が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	A: 計画どおり事業を進めることが適当		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	A	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、障害がある児童の安心できる学校生活につながると認められる。引き続き、全小中学校に支援員を配置するとともに、個々のケースに応じたきめ細やかな支援に努めていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(中)特別支援教育支援員活用事業					

予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	03	01	01	一般職人件費	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102020402	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	障害があり、身辺自立や学習に課題がある生徒に対し、安心して学校生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧な支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	2,367	2,367	1,901	2,017	4,523	3,356			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	2,367	2,367	1,901	2,017	4,523	3,356		
	人工数	人		—			—				
	人件費	千円		—			—				

手段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
特別支援教育支援員の配置	配置人数	人	目標値 2	2	2	2
			実績値 2	2	2	
	配置校数	校	目標値 2	2	2	2
			実績値 2	2	2	
成果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
障害がある子どもが、安心して学校生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向																		
配置人数 <table><thead><tr><th>期間</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr></thead><tbody><tr><td>R1</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>R2</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>R3</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>R4</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr><tr><td>R5</td><td>2.0</td><td>2.0</td></tr></tbody></table>	期間	目標値	実績値	R1	2.0	2.0	R2	2.0	2.0	R3	2.0	2.0	R4	2.0	2.0	R5	2.0	2.0	
期間	目標値	実績値																	
R1	2.0	2.0																	
R2	2.0	2.0																	
R3	2.0	2.0																	
R4	2.0	2.0																	
R5	2.0	2.0																	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	4	(中)特別支援教育支援員活用事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	03	01	01	一般職人件費

整理番号
102020402

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・特別に支援を要する生徒に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・近年、支援を要する生徒が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、障害がある生徒の安心できる学校生活につながると認められる。引き続き、支援員を配置するとともに、個々のケースに応じたきめ細やかな支援に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	2	4	学校教育	豊かな人間性の育成
実施計画事業名					
(幼)特別支援教育支援員活用事業					

予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	04	1	1	一般職人件費	
担当課・係等					
学校教育課・指導係					

実施計画整理番号	
102020403	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	障害がある子どもが、安心して園生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。	特別支援教育支援員を配置する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	障害があり、集団の中で学習やソーシャルスキルに課題がある児童に対し、安心して園生活を過ごすことができ、自尊心低下が抑えられることを目的として、個別で丁寧に支援するために特別教育支援員を配置することは、施策「豊かな人間性の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	7,822	7,822	6,846	3,866	4,015	3,382			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	7,822	7,822	6,846	3,866	4,015	3,382		
	人工数	人	—			—					
	人件費	千円	—			—					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
特別支援教育支援員の配置	配置人数	人	目標値 6	4	2	2
			実績値 6	4	2	
	配置園数	園	目標値 3	2	1	1
			実績値 3	2	1	
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
障害がある子どもが、安心して園生活を過ごすことができ、適正な教育や支援を受けられるようにする。			目標値			
			実績値			

活動指標の動向	成果指標の動向																		
配置人数 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>R2</td><td>6</td><td>6</td></tr><tr><td>R3</td><td>4</td><td>4</td></tr><tr><td>R4</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>R5</td><td>2</td><td>2</td></tr></table>	年度	目標値	実績値	R1	4	4	R2	6	6	R3	4	4	R4	2	2	R5	2	2	
年度	目標値	実績値																	
R1	4	4																	
R2	6	6																	
R3	4	4																	
R4	2	2																	
R5	2	2																	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	2	2	4	(幼)特別支援教育支援員活用事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	04	1	1	一般職人件費

整理番号
102020403

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・特別に支援を要する幼児に対し、学校生活上の介助や学習指導上の支援等、個に応じた教育や支援を行った。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・近年、支援を要する幼児が増加傾向にあり、一人ひとりの障害に応じたきめ細かな支援が求められている。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	A: 計画どおり事業を進めることが適当	⑤更なる事業の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	・引き続き、学校全体で組織的な支援を行い、一人ひとりの教育的ニーズに対応した、適切な教育や必要な支援を推進するため、継続して支援員を配置していく。	
	企画政策課の評価	評価理由
	A: 計画どおり事業継続が適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業は、障害がある園児の安心できる園生活につながると認められる。引き続き、支援員を配置するとともに、個々のケースに応じたきめ細やかな支援に努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
地域未来塾事業					

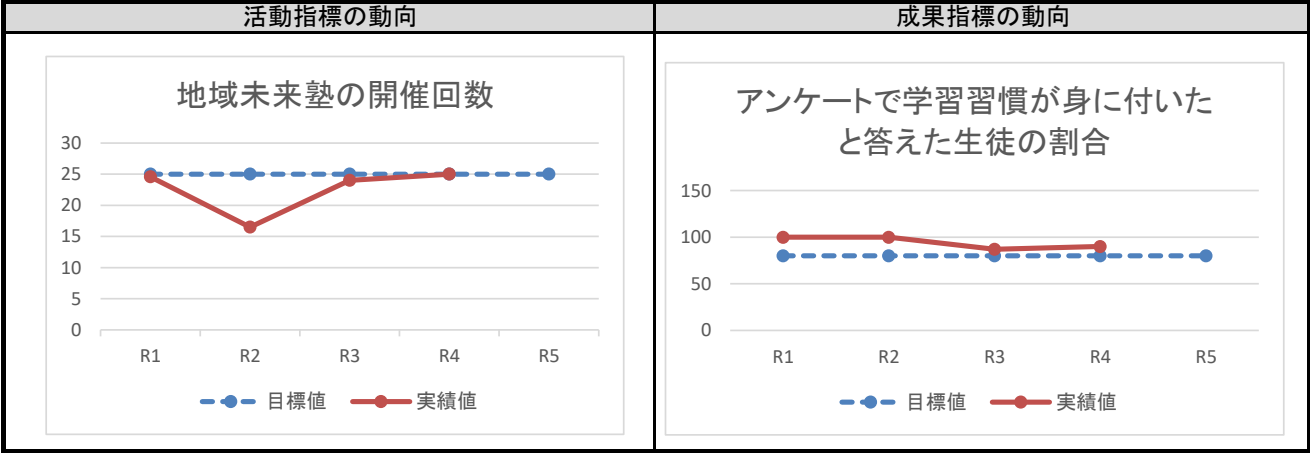
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	01	13	地域未来塾事業	
担当課・係等					
生涯学習課生涯学習係					

実施計画整理番号	
101010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	学習が遅れがちな中学3年生を対象として、自主的な学習をサポートすることで学習習慣が身に付くようにする。	各公共施設において、本事業を定期的を開催することで、学習環境の充実を図る。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	学習が遅れがちな中学3年生を対象として、自主的な学習をサポートすることで、施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	467	475	416	467	467	401			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	467	475	416	467	467	401		
	人工数	人	0.45			0.7					
	人件費	千円	3,403			5294					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
長期休業期間及び毎週土曜日に実施することで、学習習慣の確立を図る。	地域未来塾の開催回数	回	目標値 25	25	25	25
			実績値 16.5	24	25	
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
継続的に開催することで、参加生徒の学習習慣の確立につなげる。	アンケートで学習習慣が身に付いたと答えた生徒の割合	%	目標値 80	80	80	80
			実績値 100	87	90	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名		款	項	目	事	事業名	101010101
1	1	1	1	地域未来塾事業	9	05	01	13	地域未来塾事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	参加生徒17名(途中脱退2名)で1回あたり2時間。計25回実施することで、参加生徒の学習機会の充実が図られた。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	新型コロナウイルス感染症対策のため窓を開放しての実施する必要がある、昨年会場として使用した中央公民館は空調能力が低いため学習環境としては好ましくない状態であったことから、今年度は空調能力の高い総合市民センターを使用することで、生徒はより集中し学習することができた。 また、市内全中学3年生を対象に地域未来塾に関するアンケート調査を行ったところ、地域未来塾の認知度が低いことが明らかになった。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	⑥その他
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	・参加生徒は概ね継続して受講していたが、一部生徒は期間途中で出席がなくなってしまう(脱退の意思表示なし)ことがあったことから、生徒が自ら進んで継続的に学習できる体制を構築する。 ・参加者募集の際に、周知方法等を工夫することで、地域未来塾の認知度の向上を図る。	
	企画政策課の評価	評価理由
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当
	学習習慣の確立に一定の成果を挙げていると認められる。一方で、本事業の認知度が低く、周知方法に改善が必要である。今後は希望者全員に情報が届くよう周知に努めていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
文化会館主催事業					

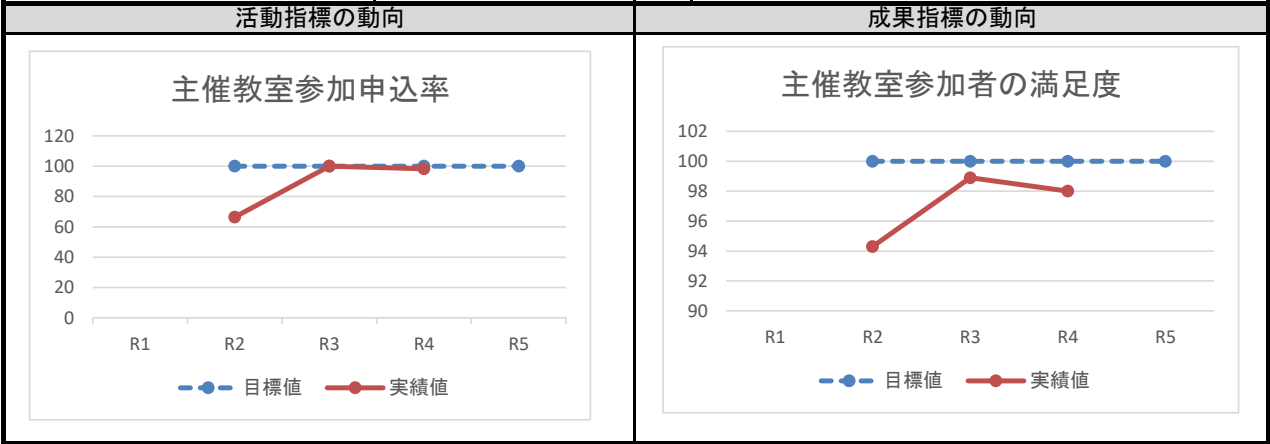
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	06	03	文化会館主催事業	
担当課・係等					
東部台文化会館管理事業係					

実施計画整理番号	
101010102	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民の文化活動を支援し、教養の向上を図るための講座や事業を充実させる。また、外房地区に映画館のない現状のなか、市民の身近な施設で上質な映画を定期的に提供することにより、文化活動の拠点となるようにする。	・多様なニーズにあった主催教室を実施する。 ・主催事業として、上質な映画を定期的に上映する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	市民の学習ニーズの多様化や主体的な学習意欲の高まりに伴い、効率的な主催事業運営に努める必要がある。各世代の多様なニーズにあった主催事業を拡充することにより、市民の教養の向上、健康の増進を図ることで、市民の満足度向上につなげ、ひいては施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	862	862	272	862	862	796			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円	215	215	215	215	0			
		一般財源	千円	647	647	272	647	796			
	人工数	人	1.65			1.65					
	人件費	千円	11,062			11062					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
主催事業でのアンケート等を活用し、各世代の多様なニーズにあった主催事業の充実を図ることで、参加申込の向上に努める。	参加申込率	%	目標値 100	100	100	100
			実績値 66.4	100	98.3	
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民の文化活動の支援並びに教養の向上や健康の増進を図るための講座や事業を充実することで、参加者の満足度の向上につなげ、文化活動の拠点となるようにする。	主催教室参加者へのアンケートで「大変満足・満足」と答えた割合	%	目標値 100	100	100	100
			実績値 94.3	98.9	98	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名		款	項	目	事	事業名	101010102
1	1	1	1	文化会館主催事業	9	05	06	03	文化会館主催事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	・主催教室は、公式ワナゲ教室、大正琴教室、クラフトバンド教室、ノートパソコン教室を実施した。また、新規に親子で作るアクセサリ教室、男の健康教室、折り紙教室を実施し、計49回実施、延べ参加者数414名、参加申込率98%となり各教室とも大変好評であった。 ・主催教室参加者へのアンケートで「大変満足・満足」と答えた割合が98%となり、概ね達成できた。 ・映画会は、令和5年2月25日(土)、26日(日)の2日間とも1日2作品上映し、延べ来場者数139名であった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	・主催教室は、より参加者の満足度が向上されるよう、市民の文化活動に対するニーズの把握が必要となる。 ・映画会は、上映作品について市民ニーズの把握が必要となる。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	・主催教室は、市民の文化活動に対するニーズを把握し、教養の向上や健康の増進に資するよう更なる充実を図っていく。また、広報やポスター等により更なる情報発信を図っていく。 ・映画会は、アンケート等により市民の上映作品に関するニーズを把握し、文化、教養の向上に資するよう更なる充実を図っていく。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	市民の文化活動の支援及び教養の向上に資する事業と認められる。引き続き、市民ニーズを的確に把握するとともに、幅広い世代が参加できるよう、事業の充実に努めていただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	1	1	生涯学習	学習機会・内容の充実
実施計画事業名					
公民館学級運営費					

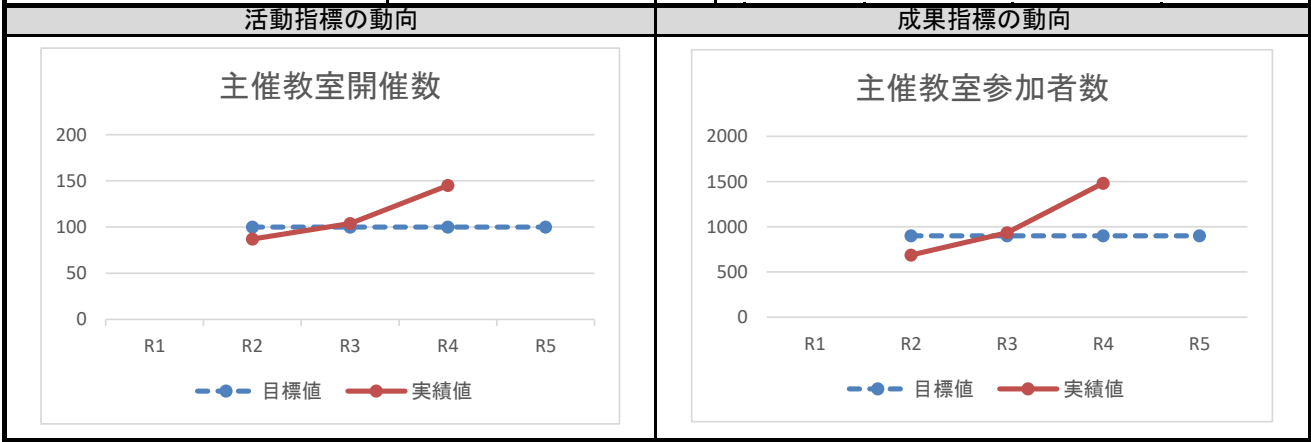
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	02	01	中央公民館学級運営費 本納公民館学級運営費 鶴枝公民館学級運営費	
担当課・係等					
中央公民館					

実施計画整理番号	
101010103	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	市民を対象(市内在勤を含む)に、各種教室を開催し、市民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及びグループの活性化に寄与する。	・各公民館(中央、本納、鶴枝)では主催教室として女性、成人、少年を対象に25教室を開催する。 ・公民館運営審議会を開催する。 ・広報等により各種教室の情報発信を行う。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	各世代が生きがいを持って学ぶことのできる主催教室を開催することにより、施策「学習機会・内容の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	1,081	899	703	1,081	1,027	834			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
	一般財源	千円	1,081	899	703	1,081	1,027	834			
	人工数	人	2.7			1.9					
	人件費	千円	16,169			10,354					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
新規の主催教室を企画し、開催回数を増やすことで学習機会の拡充を図る。	・教室等の情報発信数	回	目標値 9	9	9	9
			実績値 9	9	14	
	・主催教室開催数 (3館合計)	回	目標値 100	100	100	100
			実績値 87	104	145	
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民の教養の向上、健康の増進、情報の鈍化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進及びグループの活性化が図られる。	・主催教室参加者数 (累計)	人	目標値 900	900	900	900
			実績値 687	933	1,483	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	101010103
1	1	1	1	公民館学級運営費	9	05	02	01	中央公民館学級運営費 本納公民館学級運営費 鶴枝公民館学級運営費	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	各公民館(中央・本納・鶴枝)では、女性、成人、少年を対象に主催教室(合計145教室)を開催し、累計1,483人の参加があった。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	- 新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった主催教室もあったが、定員を減らし前期・後期に分けて開催したり、感染リスクの少ない教室に変更したりして、当初計画程度の教室を実施した。 - 教室の参加者は高齢者が主体となっているが、幅広い年齢層の参加を促進する必要がある。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性	改善・改革の手法
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要	③連携・協働の推進
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)	
	- ウィズコロナに対応した開催方法を実施していく。 - 幅広い年齢層の参加促進を図るため、受講ニーズのアンケートを行なっていく。	
	企画政策課の評価	評価理由
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当
		市民の学習機会の拡充を目的とした事業だが、教室の参加者に偏りが あり、幅広い年齢層の参加を促進する必要がある。参加者以外にも受 講のニーズを調査するとともに、SNS等を活用した情報発信に努めてい ただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	2	1	生涯学習	生涯学習体制の強化
実施計画事業名					
生涯学習推進事業					

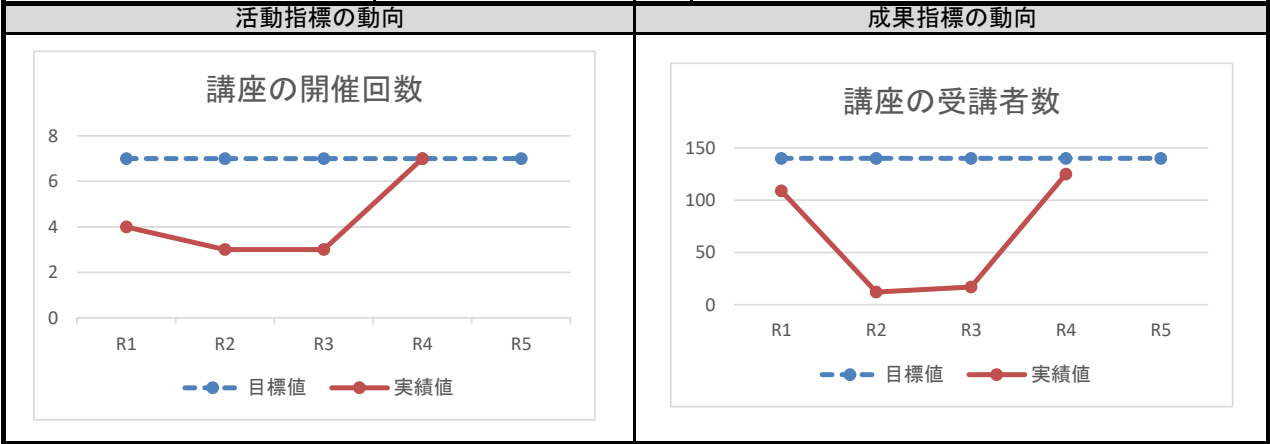
予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	01	02	生涯学習推進事業	
担当課・係等					
生涯学習課生涯学習係					

実施計画整理番号	
101020101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要（PLAN）	事業の目標・目的（誰・何をどのような状態にするか）	主な活動内容（目標を達成するために何を行うか）
	・生涯学習情報の提供、市民カレッジの開催、学社融合事業の推進を行うことにより、市民が様々な学習活動に参加できるようにする。 ・生涯学習活動を行うすべての市民に成果の発表の場を提供するとともに、新たな学びを求める市民が学習機会に出会える場を創出する。	・生涯学習推進協議会を通じて市民の意見を取り入れる。
	基本計画への寄与（基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか）	
	様々な生涯学習についての機会を提供するとともに関連機関との連携を図ることで、施策「学習機会・内容の充実」、「生涯学習体制の強化」に寄与する。	

投入される行政コスト（DO）	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	396	396	282	112	112	99			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	396	396	282	112	112	99		
	人工数	人	0.95			0.65					
	人件費	千円	7,185			4916					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
「市民カレッジ」を開催することにより、市民に対し生涯学習の機会を提供する。また、広報誌を発行することにより、各種体験活動等について情報提供を行う。	市民カレッジ講座の開催回数	回	目標値 7	7	7	7
			実績値 3	3	7	
			目標値			
			実績値			
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度
市民が学習機会に出会える場を創出することで、様々な学習活動に参加できるようにする。	市民カレッジ講座の受講者数	人	目標値 140	140	140	140
			実績値 12	17	125	



令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名		款	項	目	事	事業名	101020101
1	1	2	1	生涯学習推進事業	9	05	01	02	生涯学習推進事業	

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	市民カレッジについては、新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、全7回を開催する事ができた。また、参加人数も125人と昨年度を大きく上回った。 昨年度まで配布していた広報誌「ハローウィンドウ」については、配布効果が低いことに加え、発行母体である「体験活動ボランティア活動支援センター」(＝茂原市子どもセンター)の解散に伴い発行を終了している。		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	B: 必要性が認められる	B: 有効性が認められる	B: 効率性が認められる
	総合評価		

B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

市民カレッジについては、新型コロナウイルス感染症対策の観点から定員をコロナ禍前より減らしたものの、半数以上の回で定員割れとなった。また、参加者の固定化が進んでおり、新規受講者の開拓が必要である。

今後の方向性（ACTION）

事業の方向性		改善・改革の手法	
B:事業の実施方法やコスト等について改善が必要		⑤更なる事業の推進	
課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
市民カレッジ参加者へのアンケートを行うことで、市民の要望を把握し、参加者にとって魅力的な講座を開催するとともに、YouTubeチャンネル「茂原市生涯学習課チャンネル」にて当日の様子を配信する活動を継続する。また、動画上映会の開催など、オンライン環境が無い方でも動画視聴ができる方策を検討する。			
企画政策課の評価		評価理由	
B	A:計画どおり事業継続が 適当 B:事業改善の検討が必要 C:事業の休止・廃止の検討が必要 D:事業終了が適当	市民の学習機会・内容の充実に資する事業と認められる。引き続き、市民ニーズを的確に把握するとともに、参加者の学習手法の変化を鑑み、発信方法を工夫し、参加者の固定化の解消にも努めていただきたい。	

B

A: 計画どおり事業継続が
適当
B: 事業改善の検討が必要
C: 事業の休止・廃止の検
討が必要
D: 事業終了が適当

市民の学習機会・内容の充実に資する事業と認められる。引き続き、市民ニーズを的確に把握するとともに、参加者の学習手法の変化を鑑み、発信方法を工夫し、参加者の固定化の解消にも努めていただきたい。

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	1	3	1	生涯学習	生涯学習の担い手の育成・支援
実施計画事業名					
社会教育関係団体助成事業					

予算科目					
款 項 目 事				事業名	
9	05	01	07	社会教育関係団体助成事業	
担当課・係等					
生涯学習課社会教育係					

実施計画整理番号	
101030101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	社会教育団体の育成・支援が図られるとともに、活動が活性化されることを目指す。	・各団体(PTA連合会・ボーイスカウト茂原第2団・子ども会育成連合会)の活動を支援する。 ・子ども会育成連合会については、事務局として運営を支える。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	社会教育関係団体に対して財政面及び運営面の支援を行うことで活性化を図り、地域住民等の力を借りて社会教育の充実を図る。ひいては施策「生涯学習体制の強化」、「生涯学習の担い手の育成・支援」及び「青少年健全育成の充実」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	884	884	124	774	774	490			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
	一般財源	千円	884	884	124	774	774	490			
	人工数	人	0.5			0.5					
	人件費	千円	3,782			3,782					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
社会教育関係団体の活性化を図るため、補助金交付により財政面を、生涯学習課が事務局を担うことにより運営面を支援する。	社会教育関係団体の活性化を図るため支援を行う	目標値																						
		実績値																						
		目標値																						
		実績値																						
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
社会教育関係団体の活性化により、社会教育の推進に努める。	子ども会育成連合会の活動回数	回	6	6	6	6																		
		実績値	—	—	3																			
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			子ども会育成連合会の行事実施回数 <table><tr><th>年度</th><th>目標値</th><th>実績値</th></tr><tr><td>R1</td><td>6</td><td>5</td></tr><tr><td>R2</td><td>6</td><td>0</td></tr><tr><td>R3</td><td>6</td><td>0</td></tr><tr><td>R4</td><td>6</td><td>3</td></tr><tr><td>R5</td><td>6</td><td></td></tr></table>				年度	目標値	実績値	R1	6	5	R2	6	0	R3	6	0	R4	6	3	R5	6	
年度	目標値	実績値																						
R1	6	5																						
R2	6	0																						
R3	6	0																						
R4	6	3																						
R5	6																							

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画				
節	テーマ	施策展開	実施計画事業名	
1	1	3	1	社会教育関係団体助成事業

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	05	01	07	社会教育関係団体助成事業

整理番号
101030101

課題抽出 (CHECK)	活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)		
	各団体に補助金を交付し、活動を支援した。 ①PTA連合会 51千円(講演会、研修等) ②ボーイスカウト茂原第2団 10千円(ハイキング、奉仕活動等) ③子ども会育成連合会 690千円(キャンプ、クリスマスイベント等)		
	必要性の評価	有効性の評価	効率性の評価
	A: 必要性が高い	A: 有効性が高い	A: 効率性が高い
	総合評価		
	B: ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)		
	分析・評価(活動してどのような課題があったか)		
	近年、小学生の子ども会加入率が大幅に落ち込んでおり、また単位子ども会(地区ごとの子ども会)の数も減少傾向にある。 子ども会育成連合会では、毎年、単位子ども会の加入を募っているが、コロナ禍の影響もあり加入数が大幅に減っている。		

今後の方向性 (ACTION)	事業の方向性		改善・改革の手法	
	B: 事業の実施方法やコスト等について改善が必要		③連携・協働の推進	
	課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)			
	広報等を活用し、子ども会の意義について周知に努める。			
	企画政策課の評価		評価理由	
	B	A: 計画どおり事業継続が 適当 B: 事業改善の検討が必要 C: 事業の休止・廃止の検討が必要 D: 事業終了が適当	本事業により、社会教育団体の活動の活性化に成果を挙げているとは判断できない。関係団体と連携し情報共有及び課題の洗い出しなど、今後の社会教育団体の活性化に向けた取組が必要である。他の事業との優先性を考慮の上、事業の見直しを検討していただきたい。	

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					
節	テーマ	施策	展開	テーマ名	施策名
1	2	1	1	学校教育	社会で生きる力の育成
実施計画事業名					
(小)総合学習推進事業					

予算科目				
款	項	目	事	事業名
9	02	02	03	総合学習推進事業
担当課・係等				
学校教育課・学務係				

実施計画整理番号	
102010101	
総合戦略 整理番号	

事務事業の概要 (PLAN)	事業の目標・目的(誰・何をどのような状態にするか)	主な活動内容(目標を達成するために何を行うか)
	児童個々を生かす教育を推進し、確かな学力を育成する。	体験学習を中心に多様な学習形態の工夫により、興味・関心を生かした教育を推進する。
	基本計画への寄与(基本計画の施策等の推進にどのように寄与しているか)	
	興味・関心を生かした教育を推進することで、児童の思考力・判断力・表現力の育成を図り、ひいては施策「社会で生きる力の育成」に寄与する。	

投入される行政コスト(DO)	区分	単位	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
			計画	予算	決算	計画	予算	決算	計画	予算	決算
	事業費	千円	2,546	2,546	2,280	2,600	2,601	2,365			
	財源内訳	国補助	千円								
		県補助	千円								
		市債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	2,546	2,546	2,280	2,600	2,601	2,365		
	人工数	人	—			—					
	人件費	千円	—			—					

手 段(DO)	活動指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行えるよう支援する。	学校への支援		目標値																					
			実績値																					
			目標値																					
			実績値																					
成 果	成果指標	単位	2年度	3年度	4年度	5年度																		
すべての児童の「社会で生きる力の育成」が図られる。	実施学校数	%	目標値	100	100	100																		
			実績値	100	100	100																		
活動指標の動向			成果指標の動向																					
			実施学校数 <table><tr><th>年度</th><th>実績値</th><th>目標値</th></tr><tr><td>R1</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R2</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R3</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R4</td><td>100</td><td>100</td></tr><tr><td>R5</td><td></td><td>100</td></tr></table>				年度	実績値	目標値	R1	100	100	R2	100	100	R3	100	100	R4	100	100	R5		100
年度	実績値	目標値																						
R1	100	100																						
R2	100	100																						
R3	100	100																						
R4	100	100																						
R5		100																						

令和4年度 3か年事務事業戦略シート

基本計画					予算科目					整理番号
節	テーマ	施策	展開	実施計画事業名	款	項	目	事	事業名	102010101
1	2	1	1	(小)総合学習推進事業	9	02	02	03	総合学習推進事業	

課題抽出 (CHECK)

活動内容と成果(具体的に何をしたか、どのような実績があったか)

・より効率的に学習成果が上げられるよう、各学校が選んだ特定分野に対し、集中的な学習を行った。

・全小学校で実施できた。

必要性の評価

有効性の評価

効率性の評価

A: 必要性が高い

A: 有効性が高い

A: 効率性が高い

総合評価

A: 十分な成果を挙げた(目標・目的を達成している)

分析・評価(活動してどのような課題があったか)

いずれの取り組みも、児童の「社会で生きる力」を育む教育の推進という目的に資するものであり、一定の成果があったものと認められる。引き続き、創意工夫を生かした教育活動を実施する必要がある。

今後の方向性 (ACTION)

事業の方向性

改善・改革の手法

A: 計画どおり事業を進めることが適当

⑤更なる事業の推進

課題を解決する具体的な取組(具体的にどのような考え方で、課題を解決していくのか)

引き続き、「総合的な学習の時間」がより効果的に運用されるよう、継続して予算支援を行う。

企画政策課の評価

評価理由

A

A: 計画どおり事業継続が適当

B: 事業改善の検討が必要

C: 事業の休止・廃止の検討が必要

D: 事業終了が適当

全小学校において実施することにより、すべての児童の「社会で生きる力の育成」に寄与していると認められる。引き続き、小学校に対する必要な支援に努められたい。